

2026年度 シラバス

開講区分	行政学科 (公務員大卒・既卒向コース)	開講時期	1年次前期
科目名称	社会科学	履修	必履修
担当講師	川村 理恵		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義、演習
単位数	2		単位
授業計画	4月	政治:日本国憲法、選挙制度	
	5月	政治:地方自治、国際政治 経済:企業と市場、金融、財政	
	6月	経済:国際経済、労働問題 社会:人間と文化	
	7月	問題演習	
	8月	問題演習	
	9月	問題演習	
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
授業概要	政治・経済・社会分野の基本的事項を学習し、出題傾向を分析しながら演習を行う。		
授業目標	政治・経済・社会分野の基本的事項の理解と知識の定着を目標とする		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

学校法人上野教育学園 上野法律ビジネス専門学校

2026年度 シラバス

開講区分	行政学科 (公務員大卒・既卒向コース)	開講時期	1年次前期
科目名称	法学	履修	必履修
担当講師	川村 理恵		
担当講師の 実務経験の有無	○無 ・ 有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義、演習
単位数	1 単位		
授業計画	4月		
	5月		
	6月	法学概論	
	7月	基本的人権	
	8月	国会、内閣、裁判所、その他	
	9月	問題演習	
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
授業概要	社会科学における法学および日本国憲法の知識を発展学習し、出題傾向を分析しながら演習を行う。		
授業目標	法学および日本国憲法の発展知識の理解と定着を目標とする。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2026年度 シラバス

開講区分	行政学科 (公務員大卒・既卒向コース)	開講時期	1年次前期
科目名称	経済学	履修	必履修
担当講師	高橋 勝徳		
担当講師の 実務経験の有無	○無 ・ 有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義、演習
単位数	1 単位		
授業計画	4月		
	5月		
	6月	市場の理論、家計の行動	
	7月	企業の行動、国民経済	
	8月	財政政策、金融政策	
	9月	問題演習	
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
授業概要	社会科学における経済学の知識を発展学習し、出題傾向を分析しながら演習を行う。		
授業目標	経済学の発展知識の理解と定着を目標とする。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2026年度 シラバス

開講区分	行政学科 (公務員大卒・既卒向コース)	開講時期	1年次前期
科目名称	人文科学Ⅰ・Ⅱ	履修	必履修
担当講師	工藤 正剛		
担当講師の 実務経験の有無	○無 ・ 有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義・演習
単位数	6 (Ⅰ:3、Ⅱ:3)		単位
授業計画	4月	世界史:古代文明、中世ヨーロッパ、絶対主義	
	5月	世界史:市民革命、二つの大戦 日本史:古代・上代、中世社会	
	6月	日本史:江戸時代、明治・大正時代、二つの大戦	
	7月	地理:地形、気候、農牧業、工業、地誌 問題演習	
	8月	問題演習	
	9月	問題演習	
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
授業概要	世界史・日本史・地理分野の基本的事項を学習し、出題傾向を分析しながら演習を行う。		
授業目標	世界史・日本史・地理分野の基本的事項の理解と知識の定着を目標とする。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2026年度 シラバス

開講区分	行政学科 (公務員大卒・既卒向コース)		開講時期	1年次前期
科目名称	自然科学Ⅰ・Ⅱ		履修	必修
担当講師	齋藤 皓正			
担当講師の実務経験の有無	○ 無 ・ 有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義・演習	
単位数	4 (Ⅰ:1、Ⅱ:3)		単位	
授業計画	4月	生物:細胞、同化と異化、調節と反応		
	5月	数学:方程式、関数、不等式、三角比		
	6月	化学:物質、気体、酸と塩基、酸化・還元、化学変化		
	7月	物理:速度と距離、力、エネルギー、波、電気		
	8月	地学:地球の構造、天文、気象 問題演習		
	9月	問題演習		
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	生物・数学・化学・物理・地学の基本的事項を学習し、出題傾向を分析しながら演習を行う。			
授業目標	生物・数学・化学・物理・数学の基本的事項の理解と知識の定着を目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2026年度 シラバス

開講区分	行政学科 (公務員大卒・既卒向コース)		開講時期	1年次前期
科目名称	論理推論		履修	必履修
担当講師	川村 理恵			
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	講義
単位数	3		単位	
授業計画	4月	論理命題、集合、虫食算		
	5月	魔方陣、暗号、暦、類推、方位・位置		
	6月	順序・比較・計算、試合と勝敗、手順問題		
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	公務員試験特有の試験科目である課題処理について、論理的思考力と共にその解法を学ぶ。			
授業目標	論理的思考力のトレーニングと解法の理解を目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2026年度 シラバス

開講区分	行政学科 (公務員大卒・既卒向コース)		開講時期	1年次前期
科目名称	論理推論演習		履修	必履修
担当講師	川村 理恵			
担当講師の 実務経験の有無	○無 ・ 有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	演習
単位数	2		単位	
授業計画	4月			
	5月			
	6月			
	7月	基本問題演習		
	8月	応用問題演習		
	9月	発展問題演習		
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	公務員試験特有の試験科目である課題処理について、問題演習を通じて論理的思考力および解法の定着を図る。			
授業目標	論理的思考力と解法の定着を目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2026年度 シラバス

開講区分	行政学科 (公務員大卒・既卒向コース)		開講時期	1年次前期
科目名称	数理推論		履修	必履修
担当講師	川村 理恵			
担当講師の 実務経験の有無	○ 無 ・ 有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	講義
単位数	3		単位	
授業計画	4月	時間・距離・速さ、時計算、仕事算		
	5月	比・割合、濃度、測量、平均、年齢算		
	6月	数、順列・組合せ・確率、図形		
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	公務員試験特有の試験科目である数的処理について、数理的思考力と共にその解法を学ぶ。			
授業目標	数理的思考力のトレーニングと解法の理解を目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2026年度 シラバス

開講区分	行政学科 (公務員大卒・既卒向コース)		開講時期	1年次前期
科目名称	数理推論演習		履修	必履修
担当講師	川村 理恵			
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	演習
単位数	2		単位	
授業計画	4月			
	5月			
	6月			
	7月	基本問題演習		
	8月	応用問題演習		
	9月	発展問題演習		
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	公務員試験特有の試験科目である数的処理について、問題演習を通じて数理的思考力および解法の定着を図る。			
授業目標	数理的思考力と解法の定着を目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2026年度 シラバス

開講区分	行政学科 (公務員大卒・既卒向コース)		開講時期	1年次前期
科目名称	文章研究		履修	必履修
担当講師	川村 理恵			
担当講師の 実務経験の有無	○無 ・ 有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	講義・演習
単位数	2		単位	
授業計画	4月	論作文の書き方、論作文演習		
	5月	文章読解の基礎、読解基礎問題演習		
	6月	文章読解の発展、読解発展問題演習		
	7月	論作文演習、読解総合問題演習		
	8月	論作文演習、読解総合問題演習		
	9月	論作文演習、読解総合問題演習		
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	論作文の基本的技術を身につけ、問題演習を通じて文章読解力を養う。			
授業目標	論作文の基本的技術と文章読解力の定着を目的とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2026年度 シラバス

開講区分	行政学科 (公務員大卒・既卒向コース)		開講時期	1年次前期
科目名称	行政組織研究		履修	必履修
担当講師	川村 理恵、工藤 正剛			
担当講師の 実務経験の有無	○無・有（ ）			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	講義
単位数	1		単位	
授業計画	4月	国家行政組織研究		
	5月	地方行政組織研究		
	6月	公安系職種および組織研究		
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	我が国の主な行政組織について、その組織概要や特色、人事制度などについて研究をして理解をする。			
授業目標	我が国の主な行政組織の理解を目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80％以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2026年度 シラバス

開講区分	行政学科 (公務員大卒・既卒向コース)	開講時期	1年次後期
科目名称	ビジネス実務技術	履修	必履修
担当講師	川村 理恵、工藤 正剛		
担当講師の 実務経験の有無	○無 ・ 有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義・演習
単位数	6		

2026年度 シラバス

開講区分	行政学科 (公務員大卒・既卒向コース)		開講時期	1年次後期
科目名称	計算実務		履修	必履修
担当講師	川村 理恵、工藤 正剛			
担当講師の 実務経験の有無	○無 ・ 有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	講義・演習
単位数	5		単位	
授業計画	4月			
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月	度量衡の換算、純量代価の計算		
	11月	商品売買、試算表		
	12月	手数料、割引料の計算		
	1月	商品有高帳、その他商業計算		
	2月	伝票計算 計算問題演習		
	3月			
授業概要	ビジネス社会において最も重要な技能である経理知識・技術などについて学習をする。			
授業目標	基本的な経理知識・技術の習得を目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2026年度 シラバス

開講区分	行政学科 (公務員大卒・既卒向コース)		開講時期	1年次後期
科目名称	選択科目A・B		履修	選択必修
担当講師	各講座毎で担当講師が異なるため未記載			
担当講師の 実務経験の有無	○無・有（ ）			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	講義・演習
単位数	4（A:2、B:2）		単位	
授業計画	4月			
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月	各選択科目で講義・演習		
	11月	各選択科目で講義・演習		
	12月	各選択科目で講義・演習		
	1月	各選択科目で講義・演習		
	2月	各選択科目で講義・演習		
	3月			
授業概要	選択科目A・B毎で1科目ずつ合計2科目を任意選択して学習をする。 毎年度で開講科目は異なるが、例として法律系選択科目、コンピュータ系選択科目、語学系選択科目、ビジネス系選択科目などで構成される。			
授業目標	各選択科目で学習する知識の習得や検定合格などを目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2026年度 シラバス

開講区分	行政学科 (公務員大卒・既卒向コース)		開講時期	1年次後期
科目名称	コンピュータリテラシー		履修	必修
担当講師	工藤 正剛			
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	実習
単位数	2		単位	
授業計画	4月			
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月	パソコンの基本操作、メールの使い方		
	11月	表計算ソフトの基本操作		
	12月	表計算ソフトの応用技能		
	1月	表計算ソフトを用いた基本文書作成		
	2月	表計算ソフトを用いた発展文書作成		
	3月			
授業概要	一般的なコンピュータの操作および表計算ソフトの技能を学習する。			
授業目標	一般的なコンピュータの操作および表計算ソフトの技能の定着を目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2026年度 シラバス

開講区分	行政学科 (公務員大卒・既卒向コース)		開講時期	1年次前期
科目名称	基礎教養演習		履修	必履修
担当講師	川村 理恵、工藤 正剛			
担当講師の 実務経験の有無	無・ <u>有</u> ()			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	講義・演習
単位数	3		単位	
授業計画	4月	基本総合演習(教養科目他)		
	5月	基本総合演習(教養科目他)		
	6月	基本総合演習(教養科目他)		
	7月			
	8月			
	9月			
授業概要	演習を通じて学習してきた知識の定着を図り、基礎力を養う。			
授業目標	学習してきた知識の定着と基礎力の養成を目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2026年度 シラバス

開講区分	行政学科 (公務員大卒・既卒向コース)		開講時期	1年次前期
科目名称	公務員総合演習		履修	必履修
担当講師	川村 理恵、工藤 正剛			
担当講師の 実務経験の有無	無・ <u>有</u> ()			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義・演習	
単位数	3		単位	
授業計画	4月			
	5月			
	6月			
	7月	応用総合演習(教養科目他)		
	8月	応用総合演習(教養科目他)		
	9月	応用総合演習(教養科目他)		
授業概要	演習を通じて学習してきた知識の定着を図り、応用力を養う。			
授業目標	学習してきた知識の定着と応用力の養成を目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			